

広報 人と自然が織りなす 心豊かな協働の村

たのぼた

12

2011

No.537

復興へのご支援に
心から感謝します

銀鱈に沸き立つ

東日本大震災から約8カ月が過ぎた11月1日、島越漁港に秋サケ約220匹が水揚げされました。早朝、漁船に乗り込んだ7人は島越沖の磯建網を網おこし。震災後初めての水揚げに沸き立つ漁港では、朝日を受けて銀鱈と笑顔が輝いていました。



三陸沿岸の復興は『復興道路』の整備から

■現在の整備状況

- ①八戸・久慈自動車道（八戸市～久慈市）
計画50.0km 整備済10.4km（20.8%）
- ②三陸北縦貫道路（久慈市～宮古市）
計画90.0km 整備済6.2km（6.9%）
- ③三陸縦貫自動車道（宮古市～仙台市）
計画224.0km 整備済112.3km（50.1%）

東日本大震災で、避難や救援に大きな役割を果たした三陸縦貫自動車道。しかし、本村を通過する三陸北縦貫道路の整備率は7%不足。沿岸部の1日も早い復興のため、地域の希望につながる道路として「復興道路」の整備が始まろうとしています。

「三陸縦貫自動車道」が震災時に命をつないだ

3月11日に発生した東日本大震災で、沿岸部を縦断する国道45号は甚大な被害を受け、各地で寸断されました。一方、大震災の1週間前、3月5日に開通したばかりの「釜石山田道路」をはじめとする「三陸縦貫自動車道」はほとんど損傷がありませんでした。

三陸縦貫自動車道は、津波来襲時の避難道路、その後の緊急物資の輸送道路としても有効に機能。まさに「命の道路」として地域住民の命をつなぎました。しかし、▼八戸・久慈自動車道（青森県八戸市～久慈市）▼三陸北縦貫道路（久慈市～宮古市）▼三陸縦貫自動車道（宮古市～宮城県仙台市）の3路線のうち、整備が終わっているのは35・4%。本村を通過する三陸北縦貫道路の整備率は、思案坂大橋（写真④）を含む中野バイパス6・2キロ（6・9%）にとどまっています。

「復興道路」と位置付け 尾肝要で着工式を開催

被災地復興のためには「三陸

縦貫自動車道」など道路ネットワークの構築が必要不可欠。国や県は、1日も早い三陸沿岸地域の復興を図るため、これらの道路を「復興道路」と位置付け、未事業化区間のルート決定などを進めてきました。そして、おおむね7年間の全線開通を目指し、工事が進められる計画になりました。

その復興道路の着工式が11月20日、尾肝要地区の尾肝要トンネル終点付近で開催されました。式には、達増拓也岩手県知事、岩手県選出国會議員、沿岸市町村長など約70人が出席。大震災の犠牲者に黙とうをささげ、工事の安全を願って鍬入れを行いました。

達増知事は「災害に強い道路整備は被災地復興に不可欠。今日の着工は全線開通に向けた大きな一歩で、復興をけん引する事業として期待している」とあいさつ。上机莞治村長は「産業や経済はもとより、文化交流、地域医療や防災面からも極めて重要な道路」と1日も早い全線開通を願いました。尾肝要道路は平成25年度、復興道路全線は7年後の開通を目指して整備が進められます。



尾肝要トンネルの掘削作業が始まった



工事の安全と早期完成を願い鍬入れ



線路や倒木で寸断された野田村内の国道45号（提供：野田村）



浸水で通行不能の国道45号宮古市役所付近（提供：宮古市）

①1日も早い復興を願って餅まき。餅を求める手の向こうには皆さんの笑顔 ②③④メッセージを書き込んだ「復興の灯り」。ぬくもりある光に鎮魂と復興の願いを込めた ⑤未来を担う子どもたちは元気いっぱいのダンス ⑥あでやかな舞で目を奪った大宮さんさ踊り ⑦迫力ある演奏で盛り上げた義民太鼓 ⑧おいしそうに焼き上がり大好評だった島越自治親交会のサンマ焼き ⑨柴さん⑩と松崎さんは餅まきにも協力



心ひとつに未来へ

田野畑村 復興祈念祭



東日本大震災から8カ月が過ぎ去った11月20日、アズビィ施設周辺で「田野畑村復興祈念祭～たのはたーど・けっぱっぺ祭～」を開催しました。村の1日も早い復興を願い、訪れた多くの皆さん。郷土芸能やコンサートを楽しんだり、鍋料理などを味わったりして会場にあふれる笑顔。復興への誓いを一つにしました。

村の復興に欠かせないもの、それは私たちの絆。

「これまでは復旧、これからは復興。復興への大きな狼煙を上げよう」と上机荒治村長のあいさつで始まった村復興祈念祭。会場には早朝から多くの人が訪れました。来場者は、野菜や料理などを次々と買い求め、友好都市・埼玉県深谷市の「煮ぼうとう」の振る舞いにも行列をつくっていました。

野外ステージ前は、芸能アトラクションを楽しむ人でいっぱい。子どもたちのかわいらしい踊り、村内芸能団体の勇壮な舞や太鼓に大きな拍手が送られました。長野県青木村の「義民太鼓」、盛岡市の「大宮さんさ踊り」も披露され、村内では普段見ることのできない芸能を、食い入るように見つめる姿がありました。

柴俊夫さんを特別ゲストに迎えた「松崎しげる復興コンサート」。超満員のアズビィホールに響く松崎さんの歌声は、復興への後押しをしてくれました。

前日19日には前夜祭を開催。早稲田大混声合唱団のコンサート、荒谷正勝さんのフォークソングライブで盛り上がりました。屋外では復興のメッセージが書き込まれたペットボトル「復興の灯り」を点灯。1000個の炎は、大震災犠牲者の鎮魂と、村の早期復興を願い、幻想的に輝いていました。



田野畑村民と早稲田大 「思惟の森」の交流

日韓国際環境賞を受賞

第17回日韓国際環境賞（毎日新聞社・朝鮮日報社主催）の授賞式が10月27日、東京都文京区の椿山荘で開催されました。この賞は、東アジア地域の環境保護や公害防止などの活動に貢献した団体・個人の顕彰を目的に平成7年に制定されたもの。毎年、日本側と韓国側からそれぞれ1組が表彰され、



受賞を喜ぶ(左から)上机村長、眞野会長、ムアーズ代表

今年で17回目を迎えます。その賞の日本側受賞団体に「岩手県田野畑村民と思惟の森」の活動が選ばれました(韓国側は「鳥と生命の場 (Birds Korea)」ナイル・ムアーズ代表)。

日本側の応募は29件。毎日新聞社の社内選考を経て、11件が審査委員会に提出されました。思惟の森の活動は「50年に及ぶ環境教育の興味深い事例」と評価され、受賞団体に決定しました。

表彰式には、上机莞治村長、早稲田大商学大学院教授で思惟の森の会の眞野芳樹会長、思惟の森の会会員など約70人が出席。毎日新聞社の朝比奈豊社長から、上机村長に目録と記念プレートが手渡されました。

眞野会長は「小田泰市先生の理念、田野畑村の皆さんの理解・協力・支援、学生・OBの熱意による地道な活動が評価されたと思います。今後も活動を継続する決意です」と喜びを話していました。

鶴澤 和樹 思惟の森の会第45期幹事長

つるさわ・かずき 早稲田大学政治経済学部3年



長年続いた思惟の森の会の活動と田野畑村の皆さんとの交流が素晴らしい評価を得たことが本当に誇らしく思います。震災後のボランティア活動では、多くのOBも田野畑村を訪れました。村の皆さんとOBが、級友との再会を喜んでいるように見え、それだけつながりの深い交流をしてきたんだと実感しました。私たち現役には、その深い交流を伝えながら、さらに深いものにしていく使命があると思います。深く長い交流を目指して頑張ります。

上机 莞治 田野畑村長



1961年に発生した三陸フェーン大火の後、故小田泰市先生と学生が始めた植林活動。アカマツやスギなどが約26ヘクタールの森に大木となり、田野畑の大地にしっかりと根を張っています。3月11日の大震災後は、早稲田大の先生、学生、OBがいち早く村に駆け付け、ボランティアや物資、コンサートの開催など物心両面の支援で村を支えてくださいました。この受賞を機に、人の絆を大切に交流をさらに深め、末永い友好関係を築いていきます。



民生委員・児童委員
道合さん・沼平さん・平坂さん

表彰 永年勤続

全国・県大会で

10月27～28日に青森県で開催された「第80回全国民生委員児童委員大会」で、道合勇一さんが「永年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰」を受賞しました。また、11月8日に県民会館で行われた「第64回岩手県社会福祉大会」では、道合さんが「社会福祉功労」、沼平正治さんと平坂百子さんが「永年勤続民生委員児童委員」として表彰されました。

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱を受けた委員。自立した日常生活支援のため、皆さんからの相談に応じたり必要な助言を行ったりします。困りごとなどがあるときは、気軽に相談してください。

敬称略

地区	氏名	地区	氏名
北山	平坂 百子	大芦	牧原喜江子
机池	久保 トミ	真木沢	八重樫由美子
明戸	道合 勇一	切牛	佐々木武義
羅賀	田野畑嘉隆	島越	下村 博光
田野畑板橋	畠山 和子	千丈	沼平 正治
		尾肝要	向川原 巖
西和野	泉山 君子	沼袋	金子 すみ
和野	三上 修一	甲地	藤島 貞人
菅窪	畠山サエ子	田代	熊谷 勤巳
七滝	熊谷 キミ	萩牛	嘉藤 正義
猿山	佐藤 徳雄	巢合	

■主任児童委員（民生委員・児童委員を兼務）

氏名	氏名
奥地キミ子 (田野畑)	前原 静美 (羅賀)

平成23年度河川水質調査

河川環境おおむね良好

村は毎年、村内河川の水質調査を実施しています。今年11月1日、6河川12カ所から河川の水を採水して調査しました(下表)。

調査の結果、ほぼ全ての項目で、環境基準の最高ランク(AA類型)の基準を満たしており、おおむね良好な水質が保たれていることが分かりました。

河川の水質は、周辺の環境や季節によっても大きく変動します。また、皆さんが日ごろ何気なく流している生活雑排水の影響も受けます。野菜くずを流しに流さないことやお風呂の残り湯で洗濯をして排水量を減らすなど、毎日の生活でのちょっとした気配りが河川の水質を良好に保つことにつながります。

これからも、みんなできれいな川を守りましょう。

河川名	採水地点	pH	Do mg/l	BOD mg/l	SS mg/l	大腸菌群数 MPN/100ml
普代川	巢合中の橋付近	7.4	10.8	0.5未満	1	110
	青雲橋付近	7.3	10.5	0.5未満	1未満	13
平井賀川	砂防ダム付近	7.2	11.1	0.5未満	1未満	49
	平井賀水門付近	7.6	11.5	0.5未満	1未満	33
松前川	松前沢橋付近	7.4	11.1	0.5未満	1未満	17
	島越水門付近	7.3	11.1	0.6	1未満	11
	鉄山口バス停付近	7.4	10.7	0.5未満	1未満	33
	夕タラ橋付近	7.3	10.8	0.5未満	1未満	5
	清流橋付近	7.4	11.1	0.6	1未満	17
島の沢川	北沢と南沢の合流点	7.1	10.8	0.5未満	1未満	14
白池川	河口から約1km上流	7.4	11.0	0.5未満	1未満	7
田代川	普代川との合流点	7.3	10.6	0.5未満	1	7
県環境基準 (AA類型)		6.5~8.5	7.5以上	1以下	25以下	50以下

- ◆水素イオン濃度 (pH)・・・水質の酸性・アルカリ性の状態を示す指標。pH7.0が中性で、これより低いと酸性、高いとアルカリ性を示す
- ◆溶存酸素量 (DO)・・・水中に溶解している酸素の量を示す。魚介類が息をするためには、一定以上の溶存酸素量が必要
- ◆生物化学的酸素要求量 (BOD)・・・微生物が有機物を分解した際に消費される酸素量で、河川の有機汚濁を測る指標。有機汚濁物質が多いほど数値が高い
- ◆浮遊物質 (SS)・・・濁りの原因となる有機物やプランクトン、生活排水中の微細な物質の濃度を示す指標
- ◆大腸菌群数・・・し尿による汚染の程度などを示す指標

Proud!
Japan

私たちは 3月11日を忘れない
伝えたい 伝えなければならない

私の津波体験 ⑧



津波翌朝の羅賀地区。廣内さんの自宅や倉庫など多くの建物が流出。写真左に残る防災センターの1階は鉄骨の骨組みだけが残った



羅賀 廣内 ヤエ子さん (77)

祖母から学んだ津波。今度は私が孫たちへ

自宅でも横になりテレビを見ているときでした。いつもと比べものにならないくらい大きく長い地震。とにかく必死で火やガスの始末をしました。仏様が落ちないようにと、仏壇の扉も閉めたと思います。そして、おばあさんがよく話してくれた「大きな地震があったら、一歩でも高いところへ」を思い出しました。通帳や印鑑の入ったかばんだけを保持して、羅賀児童館付近の避難場所に向かうことにしました。しかし、夫(喜平さん)の姿がどこにも見あたりません。先に逃げたのか、それとも海のそばの倉庫に向かったのか分かりません。でも、探す時間はないと思います。とにかく逃げました。避難する途中、私は反対に海に向かう人たちの姿を見ました。船を引き上げるためだったようです。私は津波が怖かったため、何度も続く余震の中、必死で逃げました。大き

な揺れのときは何かにつかまらないと歩けないような状態で、すぐく時間がかかったと思います。避難場所に着いてふと海を見ると、海の水は引き、弁天島の方まで海底がはつきり見えていました。そのうちに海水が増えてきたかと思うと、船をのみ込み、家をなぎ倒しながらものすごい勢いで一気に迫ってきました。津波に押しつぶされてくる感じが、私がいる場所も危ないと思いが、山の斜面を登りました。木やバラなどを必死でつかんだため、手のひらは血だらけ。津波が襲ってきてから本当に一瞬の出来事で、あつという間に羅賀の集落は津波で消えてしまいました。

あとから聞いた話ですが、夫は地震の時、倉庫で仕事をしていました。地震後しばらくして海を見ると、海の底が見えるくらいに水が引いていて、慌てて逃げたようです。逃げる途中、足元まで迫るがれき。近所の家の手すりにつかまった直後、がれきにぶつかった津波のしぶきが夫の足をぬらしました。本当にギリギリのところまで助かったようです。今は夫婦二人、仮設住宅で生活しています。私が今、生きていられるのは、皆さんに支えてもらっていることと、おばあさんから聞いていた話のおかげです。津波を体験し、聞いた教えられたりすることは大事なことです。私にも孫たちに津波のことを教えようと思いましたが、忘れないうちにメモを書き始めました。おばあさんが話してくれた津波の話のおかげで、今こうやって笑顔でいられるから。

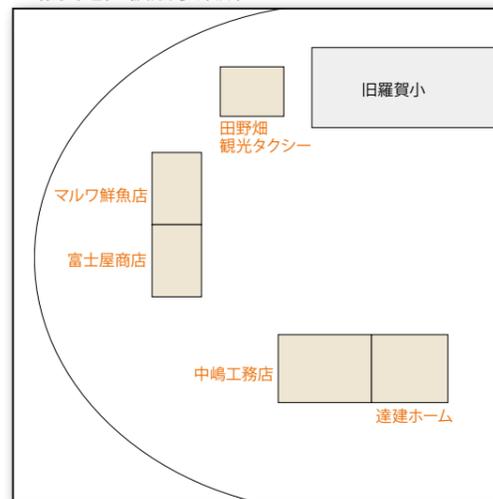


佐藤 リヤ子さん(62) =浜茶や食堂=

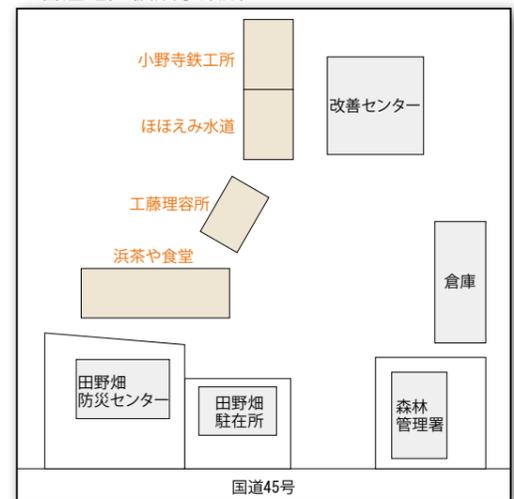
津波直後は、これからどうしたらよいか分からなくなってしまいました。8カ月ぶりの営業再開ですが、たくさんのお客さんが来店してくださり、とてもうれしいです。再開できたのも、皆さんのおかげ。これまで以上に頑張って、皆さんに喜ばれる店にしていきたいです。

改善センター付近と旧羅賀小グランドに、食堂や商店を営業する仮設事業所が完成しました。菅窪地区仮設事業所に入店したのは、▼浜茶や食堂▼工藤理容所▼ほほえみ水道▼小野寺鉄工所▼の4事業所。羅賀地区仮設事業所には、▼富士屋商店▼マルワ鮮魚店▼田野畑観光タクシー▼中嶋工務店▼達建ホームの5事業所が入店しました。引き渡しを受けた皆さんはそれぞれ、営業再開に向け内装工事などを実施。11月26日には開業式を行い、プレハブ店舗での再出発を迎えました。

■羅賀地区仮設事業所



■菅窪地区仮設事業所



改善センターと旧羅賀小校庭に 仮設店舗完成

■エリアメールの受信設定

2008年冬春モデル以降のエリアメール対応機種は、購入した時点で受信設定されています。その他の機種では設定変更が必要です

■受信設定が必要な機種

906i・905i・706iシリーズ(NM706i、L706ie、SH706ieを除く)、N705i、P705i、N705iμ、S0705i、PROSOLIDμ、らくらくホンV、らくらくホンプレミアム

■設定方法

- ①「メール」→「緊急速報」→「エリアメール」
 - ②受信設定を選択
 - ③注意事項を確認し、「受信する」を選択
- ※設定方法は、機種によって異なります。詳しくは取扱説明書を確認してください

■受信できない機種

2007年夏以前に発売された機種は、エリアメール非対応のため受信できません。詳しくは、ドコモのホームページを確認してください

エリアメールによる 災害情報の配信を始めます

村は12月5日、迅速に警報・避難情報を提供するため、(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモが提供する緊急速報「エリアメール」の運用を開始します。エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報などを回線混雑の影響を受けずに即座に受信できるシステム。村内の携帯電話鉄塔からの電波(ドコモに限る)が受信できる場所であれば、専用の着信音とバイブレーションでお知らせします。今回は、ドコモのみの運用開始です。同様システムを他の携帯電話会社が開始した場合は、順次対応していきます。

一般会計 特別会計 決算を認定

9月定例会は、9月27日から30日まで開催しました。一般質問は定例会初日に行い、中村勝明議員、菊地大議員、宮森鋭幸議員が登壇し村の姿勢を質問。その後、報告2件、議案15件、同意案2件、発議案1件を審議し原案どおり可決しました。また、決算認定8件を審査するため、議長を除く全議員で構成する決算特別委員を設置しました。

※村議会だよりは広報編集委員会（委員長・工藤求議員）で編集したものです

平成22年度一般会計決算および国保特別会計など七つの特別会計決算は9月28～30日、決算特別委員会（委員長・工藤求議員、副委員長・宮森鋭幸議員）で審議。最終日30日の本会議でいずれも認定されました。



工藤求
委員長



宮森鋭幸
副委員長

○一般会計決算 歳出総額40億4746万円、予算現額に対する執行率86・65%
・起立多数で認定

○集落排水特別会計 歳出総額6012万円、予算現額に対する執行率91・50%
・起立全員で認定

○人権擁護委員候補者の推薦
・向川原殿さん(62) 尾肝要 〃を推薦することを可決した

議決した議案等

○後期高齢者医療特別会計 歳出総額2777万円、予算現額に対する執行率99・11%
・起立多数で認定

○介護保険特別会計
・事業勘定 歳出総額3億7832万円、予算現額に対する執行率96・07%
・サービス勘定 歳出総額145万円、予算現額に対する執行率97・28%
・起立全員で認定

健全化判断比率

比率名	平成22年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	15.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%
実質公債費比率	11.6%	25.0%
将来負担比率	59.4%	350.0%
実質赤字額または連結実質赤字額がない場合は「—」		

○平成22年度田野畑村の財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

・財政の健全性に関する比率の報告が行われ、平成22年度の健全化判断比率は次のとおり。
実質公債費比率（標準財政規模に対する借金の比率）は11・6%で早期健全化基準25・0%を下回り、第3セクターへの負担も含めた今後予想される将来負担比率59・4%で早期健全化基準350・0%を下回っており、現在の状況下では国の基準を大きく下回る健全な財政状況といえます。

○東日本大震災田野畑村災害復興計画【復興基本計画】の策定に
関し議決を求めることについて
内容 安全で安心して生活を営むことができる地域づくりを指し、未来に向かって魅力ある地域の創生に務めるため「防災の地域づくり」「生活再建」「地域振興」の三つの基本方針を定めた復興基本計画を議決した。

・4億1494万4千円追加
▽平井賀漁港地域水産物供給基盤整備事業
・4840万円減額
▽除雪業務委託料
・1000万円
▽旧沼袋小学校解体工事
・3413万6千円
▽公共土木施設等災害復旧事業（現年災）準用河川他4河川、村道13路線、橋梁5橋
・3億5704万円追加
▽平井賀及び机漁港施設災害復旧事業
・4億3835万5千円

千円とするもの。主なものは、次のとおり。
▽一般被保険者療養給付費
・2132万9千円追加
▽退職者被保険者療養給付費
・200万円追加
▽退職者医療費交付金返還金
・163万4千円追加

一般質問

中村勝明議員



○平成23年度一般会計補正予算（第8号）
内容 歳入歳出予算の総額に14億3859万8千円を追加し、総額を72億1168万7千円とするもの。主なものは、次のとおり。

内容 歳入歳出予算の総額に1830万円を追加し、総額を72億2998万7千円とするもの。主なものは、次のとおり。

千円とするもの。主なものは、次のとおり。
○平成23年度田野畑村介護保険特別会計補正予算（第2号）
内容 保険事業勘定の歳入歳出予算の総額に465万3千円を追加し、総額を4億9589万3千円とするもの。

▽東日本大震災災害復興基金積立金
・3313万8千円
▽災害等廃棄物処理業務委託料
・4560万円追加
▽荷役クレーン復旧工事
・3350万3千円
▽水産業共同利用施設復旧支援事業補助金
・2471万5千円追加
▽水産経営基盤復旧支援事業補助金
・3714万3千円追加
▽共同利用漁船等復旧支援事業補助金

▽公共土木施設等災害復旧（積算資料作成及び測量設計）業務委託料
・1210万円
○平成23年度田野畑村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
内容 事業勘定の歳入歳出予算の総額に2618万2千円を追加し、総額を5億4278万3

▽介護給付費負担金等返還金
・475万3千円追加
介護サービスの事業勘定の歳入歳出予算の総額に92万9千円を追加し総額を365万4千円とするもの。主なものは、次のとおり。

（次ページへ続く）

いるところである。今後においてもそれぞれの角度から常に見直しを図って参りたい。

〔質問〕 復興基本計画の就業支援と雇用の場の創設の中で、産業振興の雇用問題について村の考えを伺いたい。

〔村長〕 震災発生後には被災した漁家や離職者等を中心に、いち早くがれき処理や沿道の環境整備、漁網の修繕などの緊急雇用対策を講じた。これらの業務を精査しながら継続できるものはこの制度を活用して参りたい。村内の企業等にも雇用の協力をお願いしているところである。さらに雇用対策については万全を期すよう努力して参りたい。

〔質問〕 本村の学校給食について、食材の主な産地と放射能測定の有無はどうなっているか。

〔教育長〕 本村の場合は、冷凍食品や加工食品を、給食用食品の専門の業者から購入しておりますので、業者が検査をしていると伺っている。問題なのは、村内の業者から購入している野菜等の生鮮食品で産地は確認しているが放射線の検査をやっているかは確認されていません。市場に出回っている商品ですので、食品衛生法など、定められ

題についてはどう考えているか。

〔村長〕 羅賀荘の営業再開は、多くの村民から早期再開を望む声が寄せられ、何よりも70名近くの方を解雇したわけであり、雇用対策としての再開が必要だろうというように考えている。これまで総務省や国交省などに対して観光振興施設としての助成制度の創設について、要望している。財源の確保の目途がつき次第再開に向け議会とも協議して参りたいと考えている。

〔質問〕 被災により子供たちの学校生活での変化があるとすれば対策を伺う。

〔教育長〕 すごい災害であったので、子供たちにも大きな変化が出てくるのではないかということ、学校にも指示をし、注意深く観察し、対応するように指導をしてきた。子供たちの学校生活には特別大きな変化はなく、震災前と同じように小中学校とも活発な学校生活が展開されている。しかし、今後どのような変化が子供たちに起こるか分からないので、きめ細やかな対応策を取って参りたいと考えている。学習や生活の変化なども、学校と相談をしながら子供たちに適切に対応して参りたい。

ている規制値はクリアしていることを前提としているわけであり、いずれ放射線含めていろいろな検査をクリアした食品であるとの認識で、食品が活用されていると思っている。

菊地大議員



〔質問〕 住宅の再建ということも最も重要と考えるが、今どのような状況にあるか。

〔村長〕 現在住宅の候補地を示し、被災した方々からアンケート調査を行った。その間専門の先生方によるコミュニティーの調査や健康調査等実施している。アンケート調査の結果、高台移転、被災地の近くに住みたいという方々もいる。アンケート調査をお盆前に実施したが、アンケート調査時点と、現時点が相当揺れ動いている。それらを集約しながら最終決定をしようとしている。最終的には再度また被災した人たちが協議をしたいということ、現在実施している段階である。それが決まれば住宅の再建に向けて大きく進むと考えている。

討論

特別委員会で認定すべきと委員長報告のあった平成22年度一般・各特別会計決算について反対の立場から中村勝明議員、賛成の立場から小松山久男議員が討論した。

〔反対〕 中村勝明議員

一般会計歳入歳出決算並びに後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、次ぎの3点を指摘する。
①職員体制：大震災の復旧・復興に取り組むため、思い切った人材を登用し、国・県の強力なバックアップ等、あらゆる社会構成団体の総力を挙げて村を前進させるため職員体制の充実が必要である。

②第三セクター2社：ホテル羅賀荘は、平成7年から25年まで村と金融機関とで限度額20億円の損失補償契約、これらを全村民に理解できるよう経営状況を周知徹底し、今後の経営の在り方も判断してもらうこと。サンマッシュ田野畑は、日本政策金融公庫と損失補償契約を借入限度額1億3770万円以内で村

そして、国の3次補正の中で具体的な制度設計も出てくると思う。それを受け最終決定をしたい。被災した高齢の方々や一人暮らしの方々、個人で再建することができないという方々に対しては積極的に災害公営住宅、村・県営含めて整備していくことで国、県に対して申し入れている。早い段階で集約し、できる限り安心して住める場所を選定して参りたい。

〔質問〕 被災を免れて残った集落は、余震による津波に対して恐怖心は大変なものと感じる。そのような地域に対しての対策をどう考えているか。

〔村長〕 この地域づくりの最も大事な点は、各地域で培ってきたコミュニティーが維持されるかである。残った箇所も、移転した箇所も一体となれるような場所に移ってもらうのが一番いいわけであるが、できない場合もある。特に自治組織や地域のコミュニティーが維持されるかという問題もある。それらを含めながら一つの集落として残って一体となれるようなものにし、残った地域への防潮堤や海岸の保全施設等については、順次整備をしたい。残った地域や移転

と金融機関とで締結され、議決責任があり、契約期間内平成37年度まで責任が生じ監視しなければならぬ。
③後期高齢者医療制度：障害者自立支援法にも共通し、応益負担を政権が代わっても変えない。以上認定の2議案に対し指摘して反対討論とする。

〔賛成〕 小松山久男議員

平成22年度の我が国経済は、依然として景気の低迷、県内ではマツタケの大豊作、年末の低気圧といった天候不順の1年であった。本村の雇用対策は、小学校校舎を活用したグループホーム等、就労の場ができ、定住者にとつてもうれしい限りであった。観光振興においては、サップ船アドベンチャーズの利用者が増加するなど明るい兆しが見えた。また、三陸北縦貫道路、尾肝要道路はトンネル工事に着手しており、順調に進んでいる。災害復旧事業は21年災、道路補助災害15件、単独災害3件を復旧し、教育振興では小学校を統合し、新生田野畑小学校の開校式を実施している。社会経済が安定しない不況の年であり、3月11日の千年に1度とも

した地域へのケア、特に高齢者や女性の方が心理的に動揺していることからケアをしていかなければならない。

宮森鋭幸議員

〔質問〕 漁業の復旧、復興のためどのような対策と支援をしているか。

〔村長〕 現在緊急的な対応、短期的な対応、中期的な対応の3段階により5年後の復興を目指すしながら取り組んでいる。今年度は、緊急的並びに短期的な対応として、漁業者の収入確保、漁船の確保、秋サケ漁に向けた定置網の復旧、来春の採取に向けたわかめ施設の復旧により、漁業者の早急な事業再開を支援しているところである。これらの業務を遅滞なく進めるため漁協の事務機能、市場機能、製氷・貯水機能の早期回復を図り、秋以降から通常漁業の再開を目指しているところでもある。今後は、短期、中期的な対応として浅海漁業資源の回復、漁協の再建等単なる復旧のみならず、今後の未来へ向けた復興という観点から施策を展開して参りたい。

〔質問〕 ホテル羅賀荘の再建問題

言われる大津波に見舞われ、復旧、復興に向けてがれき除去業務等全勢力を傾けた全職員に感謝し賛成討論とする。

意見書

●灯油高騰への緊急対策を求める意見書

提出者 中村勝明

賛成者 菊地大 賛成者 宮森鋭幸

〔意見内容〕

①東日本大震災での被災者に対し、「被災者支援灯油」など救済のための制度を新設して支援対策を行うこと。

②低所得者、経済的弱者のための「福祉灯油」の実施、拡大に加え、灯油高騰に苦しむ農林漁業者や零細中小企業に向けての緊急の支援対策を行うこと。

③灯油の安定的な量の確保と、適正価格に政府が責任を持つこと。在庫を削減することで出荷規制や価格の便乗値上げが行われる状況を作らせないこと。

④灯油高騰の要因となっている「原油への投機マネーの流入」について、日本が率先して各国と連携し、規制を行うこと。

山 ぶどうワインを公社で発売

村産業開発公社では、震災復興を祈念して、村産ヤマブドウを原料にした「たのはた山ぶどうワイン」を新発売します。醸造は紫波町の(株)紫波フルーツパーク。ヤマブドウの風味が生きた飲みやすい味に仕上がりました。限定300本を村産業開発公社のみで販売します。ぜひお買い求めください。

◆発売時期…12月上旬

◆商品内容…750ミリ、アルコール度数10度

◆価格…1,800円



ジ ョーラートには新味仲間入り

クリスマスに向け「たのはたジェラート」には新味が仲間入り。トマト、コーヒー、ピスタチオ、ジャンドゥーヤの4種類に加え、メロン、ラムレーズン、盛岡ベリー、ワインの4種類が増えました。

◆商品内容・価格…500ミリ、900～1,300円

夏に販売して品切れ中だった「たのはた牛乳のお酒」の販売を再開します。

◆商品内容…500ミリ、アルコール度数15度

◆価格…1,000円

【問い合わせ…村産業開発公社 ☎34-2080】

田 野畑校が村復興基金に寄付

岩泉高校田野畑校（夏井敬雄校長、生徒13人）は11月1日、村復興基金への寄付金を持参して村長室を訪れました。この寄付金は、10月2日に岩泉高と合同で行った文化祭で、全校生徒がたのはたヨーグルトなどを販売した収益5,420円。文化祭の模擬店で代表を務めた奥地康巨君と畠山史也君（共に3年）が上机莞治村長に手渡しました。上机村長は「田野畑校の皆さんの気持ちがこもった大切なお金。復興に役立てます」と感謝を話しました。



上机村長(左)に文化祭の売り上げを手渡す畠山君(中)と奥地君(右)

中 学生が一揆題材の劇を熱演

田野畑中（佐々木幸彦校長、生徒123人）の文化祭は10月30日、「For one purpose ひとつの目的のために…」をテーマに同校で開催されました。午前中の合唱コンクールは、クラスごとに課題曲と自由曲を合唱。体育館に優しく力強いハーモニーを響かせました。午後は全校創作劇「結束～立ち上がる若き血潮～」を上演。生徒全員が役者やスタッフを担当し、主人公「万吉」を取り巻く人間模様や一揆に立ち上がる様子を熱演し、会場を大きな感動に包みました。



生徒たちの熱演に会場からは大きな拍手が送られた

全 国大会で震災の記憶を発表

野田村からハックの家に通所する障子紙喜一さん(24)が11月6日、東京国際フォーラムで開催された「全日本手をつなぐ育成会 第60回全国大会」で東日本大震災の様子などを発表しました。発表者は障子紙さん1人。皇太子様や集まった約4,500人を前に「とても緊張したけど素晴らしい機会でした」と振り返ります。竹下美恵子理事長は「本人はもちろん、施設の励みにもなります。これをきっかけに、みんなで前を向いて歩いていきます」と話していました。



障子紙さんは現在、ハックの家でパン作りや販売に励む毎日



上遠野君が指揮する曲に合わせ、児童館の子どもたちも踊り出す

警 察音楽隊の迫力演奏に涙も

岩手、青森両県警察音楽隊による『安心・安全ふれあい「絆」コンサート』が10月27日、田野畑中で開催されました。田野畑中生徒、たのはた児童館園児、村民など約300人が、1時間14曲の迫力あふれるブラスバンド演奏に聞きほれました。ドラマ主題歌では田野畑中3年の上遠野恵太君が指揮者に挑戦。流れ出した曲に合わせ、思わず踊り出すたのはた児童館の子どもたち。「ふるさと」の演奏では、目を閉じて聞き入ったり、感動で涙したりする来場者の姿もありました。

学 習発表会熱演に温かい拍手

田野畑小（早川幸男校長、児童174人）の学習発表会は10月23日、同校で開催されました。1年生から6年生までそれぞれが、劇や歌、演奏など、練習の成果を發揮しようとして一生懸命でした。1年生はネズミやネコになりきってかわいらしい演技。6年生は戦争をテーマにした劇で迫真の演技。会場を訪れた多くの保護者や地域の人たちからは温かい拍手が送られていました。会の最後は全校児童で「ふるさと」を合唱。きれいなハーモニーが会場に響きました。



会場の笑いを誘った4年生の劇「金のがちょう」

お知らせ

人口と世帯	火災
11月1日現在()は前月比	(10月21日～11月21日)
人口 3,879人(-4)	火災の【今月】0件
男 1,905人(-2)	発生件数【今年】1件
女 1,974人(-2)	無火災の連続記録
世帯 1,440世帯(±0)	(11月21日現在) 205日

議会一般質問放送を取りやめ

村はこれまで、防災行政無線で村議会一般質問の様子を放送してきました。この度、次のような理由により放送管理者として放送を取りやめることにしましたので了承をお願いします。

◆放送取りやめの理由

- ①災害発生時、緊急情報伝達の妨げになる
- ②放送施設の機能維持上の観点から避ける必要がある
- ③防災無線免許者の東北総合通信局から、長時間使用は好ましくないとの指導を受けている

一般質問の内容は議会だよりでお知らせします。皆さんのご理解をお願いします。

◆問い合わせ先…総務課 (☎34-2111 内線12)

交通事故に気を付けましょう

12月1日から10日まで、冬の交通事故防止県民運動を展開します。道路の積雪や凍結が心配される季節。ゆとりを持った運転を心掛け交通事故を防止しましょう。また、年末年始は飲酒の機会が増えます。飲酒運転は絶対にやめましょう。

冬の安全運転(いちにっさん)運動

- ①一割スピードダウンしよう
- ②二倍の車間距離をとろう
- ③三分早めに出発しよう

飲酒運転4(し)ない運動

- ①運転するなら酒を飲まない
- ②運転者に酒を提供しない
- ③飲酒者に車を提供しない
- ④飲酒者の車に同乗しない

◆問い合わせ先…総務課 (☎34-2111 内線15)

出稼ぎ者の健康診断を実施

村は、出稼ぎ者を対象とした健康診断を実施します。正月で帰省する人は、ぜひ受診してください。

- ◆期日…平成24年1月5日(木)
- ◆受付時間…午前11時～11時30分(厳守してください)
- ◆場所…村診療所
- ◆持ち物…健康保険証
- ◆受診料…自己負担となります ※8,920円までは助成します
- ◆申込期限…1月4日(木) ※当日の申し込みは受け付けません
- ◆申し込み・問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線25)

1人で悩まず相談を

寄り添いホットラインは、「一人にしない」「社会から切り離さない」ことを目指して、電話相談を受け付けます。生活や暮らしに関する相談、つらい気持ちを聞いてほしいなど、どんな悩みでも相談してください。

◆受付時間…毎週木・土曜日 午前10時～午後10時

フリーダイヤル つなぐ ささえる
0120-279-338

「本音で語ろう県議会」を開催

皆さんと県議会との意見交換会「本音で語ろう県議会」を開催します。県議会議員が出席し、皆さんから意見や提言を伺います。申し込みは不要で、どなたでも参加できます。

- ◆日時…12月22日(木) 午後6時30分～8時30分
- ◆場所…野田村総合センター
- ◆問い合わせ先…県議会事務局 議事調査課(☎019-629-6021)

地デジ難視聴地区を訪問

地理的な条件などにより個別受信アンテナで地上デジタル放送を受信できない地域に住んでいる人には、下記のような国の支援があります。難視聴地区に指定されている家庭には、国から委託を受けた業者が訪問して申請を受け付けますので、忘れずに申し込んでください。難視聴地区の確認は政策推進課にお問い合わせください。

◆暫定的な衛星放送利用

暫定的に衛星放送を利用して地デジ放送を視聴。BSチューナーの貸し出しやBSアンテナの設置工事を無償で行います(業者：地デジ難視対策衛星放送受信設備整備支援センター)

◆高性能アンテナ対策

受信点の調査や高性能等受信アンテナ対策に要した経費の一部に対して助成します(業者：岩手県地上デジタル放送推進協議会)

◆問い合わせ先…政策推進課 (☎34-2111 内線63)

地デジチューナーを無償給付

◆対象

- ①村民税非課税世帯
- ②NHK受信料全額免除世帯

◆支援内容

- ①チューナーの無償給付
- ②チューナーの無償給付、申し出によりチューナーの設置・操作説明や必要によりアンテナなどの改修

◆申込期限…平成24年3月31日

◆申し込み・問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線63)

人間ドックに助成金を交付

- ◆対象…40～74歳で人間ドックを受診した人。(全ての医療機関での受診が対象です)
- ◆助成額…課税状況により1万～2万円(3年に1回の助成)
- ◆申請方法…検診結果の写しに領収書または受診証明書を添えて、保健福祉課に申請
- ◆開始日…8月1日(月)以降の受診分から
- ◆問い合わせ先…保健福祉課 (☎33-3102)

電話帳を配達・回収します

NTT東日本では12月中旬に、新しい電話帳を各家庭や事業所にお届けします。その際、現在使用している電話帳を回収しますので、配達員に渡してください。不在などの場合、後日あらためて回収に伺いますので、タウンページセンタにご連絡ください。地球環境保護のため、リサイクルに協力をお願いします。

◆問い合わせ先…タウンページセンタ(☎0120-506-309)

決算説明会を開催します

宮古税務署では、個人を対象に決算説明会を開催します。

青色申告の人

◆日時…12月6日(火) 午後1時30分～3時30分

◆場所…岩泉町役場本庁舎

白色申告の人

◆日時…12月13日(火) 午前10時～正午

◆場所…宮古合同庁舎4階

◆問い合わせ先…宮古税務署 (☎0193-62-1921)

村の話題 パート2



多くの人々が訪れリンゴやヨーグルトなどが飛ぶように売れた

村農林水産物が東京で大好評

東京都日の出町で11月5、6の両日、「第23回日の出町産業まつり」が開催されました。祭には、村の農業青年クラブなども参加。村の乳製品、野菜、海産物などを販売しました。約20年前、本村を修学旅行で訪れていた平井中学校の卒業生や職員も販売を応援。訪れた人は、すきこんぶや牛乳などを次々と買い求め、用意した約20種2,000点の商品は2日間ではほぼ完売しました。

映像通し村の未来を語り合う

村交流観光プラットフォーム(道合勇一会長)は11月19日、宝福寺で「田野畑村の未来を語る会」を開催しました。集まった約60人は、村民や村出身者の郷土愛や大震災の経験などを記録したインタビュー映像を鑑賞。その後「村に暮らす幸せ」「10年後の未来」などをテーマにグループごとに意見交換をしました。同会では今後、小冊子の作成などを予定しています。



村の未来について活発な意見交換が行われた

広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課(12月20日まで)にお送りください。正解者の中から抽選で5名様にプレゼントが当たります。

Q1 11月1日、島越漁港に水揚げされたのは?
A) サンマ
B) 秋サケ

Q2 50年に及ぶ「思惟の森の交流」が評価され受賞した賞は?
A) 環境大賞
B) 日韓国際環境賞

Q3 11月19日の村復興祈念祭の前夜祭でともした炎は?
A) 夢あかり
B) 復興の灯り

■前号(11月号)の正解
Q1→A、Q2→B、Q3→A
■当選者(敬称略)
奥地正太郎(甲地)、佐藤里江(甲地)、鉦形タヨ(田野畑)、熊谷タマ(花巻市)、旅人(釜淵)

おめでた おくやみ

[平成23年10月届け出分]
(一部敬称略)

●生まれた赤ちゃん
小長根 太耀(たいよう)くん
直・奈保子 机

♥ご結婚おめでとう
渡部 泰成 真木沢
阿部 悠子 宮古市 ♥真木沢
熊谷 明紀 島越
馬内 詩織 久慈市 ♥島越

■ご冥福をお祈りいたします
深渡 洋子(65) 羅賀
佐々木 留美子(37) 巢合
畠山 カヨ(87) 菅窪
中村 清子(77) 羅賀
熊谷 ウメノ(94) 北山
中村 光明(63) 羅賀
山崎 喜平(83) 北山
佐々木 美儀(81) 島越
佐々木 幸吉(98) 切牛
中村 定雄(81) 羅賀

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口にお申し出てください

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

1759万7,449円 (11月21日現在)

349件(村内84件、県内112件、県外153件)

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課(☎34-2111 内線15)までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間:12月2日(金)~1月4日(水)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
12月2日(金)	人権相談	役場第1会議室	10:00~15:00	生活環境課(内線23)
	行政相談	役場談話室	10:00~15:00	総務課(内線13)
4日(日)	第42回歳末たすけあい演芸会	アズビホール	10:00~12:00	村社会福祉協議会(☎33-3025)
9日(金)	生活相談会	高校仮設団地集会所	13:00~15:00	復興対策室(内線69)
10日(土)	たのはたっ子わんぱくランド「クリスマスリースづくり教室」	アズビ楽習センター	14:00~16:00	教育委員会
12日(月)	定期健康相談	保健センター	10:00~11:30	保健福祉課
14日(水)	幼児健診	健診センター	13:00~15:30	保健福祉課
15日(木)	各種検診(21日まで各地区を巡回。詳細は18ページに掲載)			保健福祉課
16日(金)	生活相談会	中学校仮設団地集会所	13:00~15:00	復興対策室(内線69)
	定期健康相談	保健センター	10:00~11:30	保健福祉課
26日(月)	固定資産税3期・国保税6期納期限			税務課(内線31・32)
	介護保険料7期納期限			生活環境課(内線22)
28日(水)	後期高齢者医療保険料6期納期限			生活環境課(内線21)
	仕事納め	役場は12月29日から1月3日まで閉庁です。各種手続きなどは早めに済ませてください		
1月4日(水)	仕事始め			

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 診療所☎33-3101 / 保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー

期間:12月14日(水)~15日(木)

◆はまぎくコース(机・北山方面)

月日	場所	時間
12月14日(水)	グループホームつくえ付近	9:40~10:00
	北山地区総合センター	10:10~10:25

◆たんぼぼコース(真木沢・切牛方面)

月日	場所	時間
12月14日(水)	佐藤進氏宅付近	11:05~11:20
	望洋館	11:30~11:45

◆おきなぐさコース(沼袋・甲地方面)

月日	場所	時間
12月15日(木)	産直プラザ尾肝要	9:45~10:00
	山栄会リアス倶楽部付近	10:10~10:40
	甲地公民館	10:50~11:05

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

はまなす 掲示板

定期的な受診を心がけましょう

健診・検診を実施

12月15日から21日まで、各地区を巡回して各種検診を実施します。対象の検診は、▼特定健診▼後期高齢者検診▼肺がん検診▼大腸がん検診▼前立腺がん検診▼肝炎ウイルス検診です。病気を予防するためには、規則正しい生活を送ることが大切。しかし、それでも病気に気づいてしまうこともあります。自覚症状が現れにくい病気もあることから、早期発見のためにも定期的な検診受診が重要です。

◆問い合わせ先:保健福祉課(☎33-3102)

■検診日程

月日	受付時間*	場所
12月15日(木)	09:30~14:30	農村環境改善センター
16日(金)	09:30~14:30	浜岩泉農業会館
19日(月)	09:30~14:30	保健センター
20日(火)	09:30~10:30	北山総合センター
	13:00~14:30	アズビホール
21日(水)	09:30~14:30	アズビホール

*午前は11時まで、午後は1時から受け付けます



広がる携帯電話の通話エリア

全携帯電話が開局

大震災の影響などで開局が大幅に遅れていた携帯電話基地局の皆さんにはご不便をおかけしましたが、10月末に七滝、室場、千丈のKDDI、11月末には猿山のKDDIが開局しました。大震災で被災した施設については、通信事業者に復旧の要望をしていきます。今後とも電波の弱い場所、つながりにくい場所などがありましたら、情報をお寄せください。

◆問い合わせ先:政策推進課(☎34-2111 内線63)

■除雪しない(通行止め)路線と区間

路線名	区間など
村道和田野平井賀線	大澤宏さん宅付近~釜谷ノ沢
明戸北山線	明戸~村道机西線の入口付近
	林道七ツ森線入口~普代境
久春内線	村道明戸北山線接続~県道
白坂線	旧県道
切牛線	漁協倉庫~菅原神社
田代線	砂防ダム~岩泉町境
萩牛線	砂利道
長内沢線	下閉伊生コンより上流
高森線	テレビ中継所
北山港線	県道~北山漁港
大平線	佐々木ミワさん宅~佐々木留助さん宅
松前沢線	松前沢橋~農免農道浜岩泉線入口手前
釜谷ノ沢線	旧県道
和野線	三上哲雄さん宅~三上昭雄さん宅
田野畑明戸線	三田地錦光さん宅~坂下達男さん宅
島越浜岩泉線	村道鉄山線分岐点~浜岩泉
沼袋三沢線	佐々木安吉さん宅~岩泉町夏節地区
切牛真木沢線	砂利道区間(災害のため)
真木沢港線	全線(災害のため)
農免農道浜岩泉線	浜岩泉専用水道配水池~和山吉治さん宅
農道大芦線	国道45号~農免農道浜岩泉線
林道真木沢線	全線(災害のため)

冬を迎え、降雪による道路の除雪作業が本格化します。また、冬期間利用の少ない路線などの除雪を見送り、積雪時から3月下旬まで通行止めとします(左表)。

次のことに理解と協力をお願いします。

- ①深夜や早朝の作業に理解をお願いします
- ②各家庭の玄関前の除雪に協力してください

③道路への雪出しは危険なのでやめてください

④路上駐車は除雪の妨げになるのでやめてください

⑤路面状況に十分注意して走行してください

◆問い合わせ先:地域整備課(☎34-2113 内線53)、岩泉土木センター(☎22-3116)、三陸国道事務所久慈維持出張所(☎0194-53-2790)

理解と協力を

冬期間の通行止め



館野 衣由^{いよ}ちゃん (1歳6カ月)
父・晃久さん、母・美里さん=羅賀=

お母さんからのひとこと

なんでもよく食べます。特にお菓子が大好きで、隠し場所も覚えてしまいました…。ちょっぴり恥ずかしがり屋な女の子。健康で優しい子になってね。



小松山 愛心^{あみ}ちゃん (1歳5カ月)
父・裕司さん、母・望さん=田野畑=

お母さんからのひとこと

お姉ちゃんと一緒に散歩したり砂遊びしたりと、外遊びが大好き。活発で、お兄ちゃんを泣かせてしまうことも…。みんなから愛される女の子に育ててね。



編集ごぼれ話

11月20日の村復興祈念祭。会場には多くの人が訪れ、出店者も来場者も笑顔が輝いていました。松崎しげるさんの復興コンサートでは、会場のアズビエイホールが超満員。迫力の歌声に酔いしれていました。祭の準備から片付けまで、実行委員や地域の皆さんが協力している姿を見て、村長のあいさつどおり「復興への大きな狼煙が上がった」と実感

▼同日、尾肝要地区で行われた復興道路着工式。県沿岸南部や宮城県では震災時、三陸縦貫自動車道が避難道路や緊急物資輸送に大きな力を発揮しました。トンネル掘削が始まった尾肝要道路は平成25年度開通予定。そして復興道路全線は7年後の開通予定。1日も早い全線開通を願います

▼今年も残すところあと1カ月。日に日に増す寒さ。冬用タイヤへの交換は早めに済ませましょう。空気が乾燥し、風邪をひきやすい季節です。うがい・手洗い・マスクの着用で予防を！ インフルエンザの予防接種もお忘れなく。

(政策推進課 佐々木和也)